

中部学院大学短期大学部で防災講座を行いました

令和6年6月6日（木）、中部学院大学短期大学部で学生10名に水害と地震についての防災講座を行いました。日本人4名、留学生6名の学生は介護福祉士を目指す学生です。

水害の講座では、日本の河川は他の国と比べ急勾配になっており延長も短い事や、住んでいる土地の多くは河川よりも低いことなど日本の国土の脆弱性について知っていただきました。他にも、過去の水害やVRによる浸水疑似体験を通して、水害の恐ろしさや早期避難の重要性を学んで頂きました。

地震の講座では、新年に発生した能登半島地震や濃尾地震などの過去の地震や地震によって発生する地盤の隆起・沈下、液状化などの現象を学び、特に液状化現象は実験で体験して、自分の住んでいるところが安全なのかを考えて頂きました。

今回の講座が、近い将来、介護福祉士として活躍される学生たちの防災意識向上に繋がり、災害から大切な命を守ることが出来るようになって頂けることを期待しています。

なお、講座の様子は中日新聞、岐阜新聞に取材頂きました。

水 害



地 震

